

中国という 「アリ地獄におちた」日本

中華人民共和国は共産主義の党が束ねる国家で、「司法」も「行政」も共産党の下部組織でしかない。

つまり、共産党の幹部であればすべては思いのまま、好き勝手放題できるというわけだ。

「毛沢東」にあこがれる習近平国家主席が中華皇帝に君臨したい気持ちもわからないでもないが現在は21世紀であり、中世ではない。

人民を「武装警察」による弾圧で抑え込み「奴隷労働」と「賄賂漬け」「臓器ビジネス」で蓄えた巨額の資金と家族、愛人・妾まで海外逃避させ、いつでも中国を捨

て去る用意をする共産党幹部たち。

中華人民共和国は実に素晴らしいビジネス国家ではないか！？

彼らに本当に必要なのは民主主義の導入だ。

ところで、中国からすべての国の企業が逃げ出している。

なぜなら、最近の論調では「中国で儲けたお金は持ち出せない」からだ。

せっかくビジネスチャンスを見つけ中国に進出した企業も**中国でお金を儲けても、国外に持ち出すことはできない**のでは中国に進出する意味がない。





撤退する外資の資産を差し押さえ

日本や欧米の外資企業が中国から撤退するとき、資金の持ち出しを禁止されている。

人件費の高騰した中国の事業に見切りをつけ引き上げる外資企業が、中国政府に資産没収されている。

進出するときは熱烈歓迎でスムーズ。

ところが中国から撤退は手のひら返し。

例えば日系企業の製品を生産する工場では、日本人工場長が「過去の侵略を謝罪しない」などという理由で「監禁」され「暴行」される。

中国の警察は、権力者の都合で誰を取り締まるかを決めるので「監禁」「暴行」の犯罪には見向きもしない。

「労働争議」や「労働者の暴力」「労働者による盗難」「不正」などすべて企業が我慢してお金を払う。

「契約書」があっても意味は無く、労働者が集まっては工場に放火したり盗んだり、暴力を振るったりする。

そのうえ出来上がった製品は、他の国で製造するより品質が悪い場合が多い。

親会社の指導で高品質な製品ができて問題が発生する。

『サムスン電子』はスマホを中国工場生産、中国に製造技術を盗まれて「中国製スマホ」の品質が向上することになる。

お金を払って泥棒に製造技術移転をする羽目になる。

韓国の「サムスン電子」も馬鹿だねー。

「熱烈歓迎」「撤退袋叩き」が中華人民共和国の流儀！

「インテル」も中国工場生産。

中国は「盗んだ製造技術」で「スーパーコンピュータ」を製造します。

高度な技術の産業ほど、中国への工場進出はリスクが高くリターンは無い。

自動車産業でも中国国産車が最大シェアを持ち、外国メーカーは技術を盗まれ



たうえお払い箱。

撤退を決めた企業は、それからもっと酷い目に合う事になる。

中国では外国企業が中国に 現地法人は創れない。

中国の「トヨタ」「日産」「ホンダ」は現地企業が半分出資する合弁会社です。

合弁先の中国企業は進出するときは何も言わないが、撤退するときにはあらゆる手段で妨害します。

現地従業員の解雇を事前に予告すると「暴動」や「焼き討ち」されるので、「連休を利用して夜逃げ」します。連休明けに従業員が出社すると「会社は閉鎖されました」の「張り紙」を読むこととなる。

地元の役人や関係者に多額の賄賂を配って、地方政府の事前の許可を得なければなりません。

また合弁会社解散には合弁先の同意が必要ですが、絶対に同意する事はありません。



中国ソニー工場売却で従業員が工場封鎖騒動(2016年11月)

合弁会社の役員の半数は中国人でなければならぬと決まっています。合弁の解消は役員全員が賛成しないとできません。

韓国企業のように全てを捨てて逃げ出すしか方法はありません。

企業が進出後10年以内に撤退する時は、進出時に免除された税金を政府に納めるという契約書を交わされています。

撤退するには合弁先への補償金や役員一人一人への補償金(つまり賄賂)が必要で、中国にある全資産を差し上げない限り同意は得られません。

「中華人民共和国」は 「共産主義」の国家。

中国への進出企業は中国が共産国家だと思ひ出せ!!。

共産主義国家では「操業」も「生産停止」も国の許可が必要です。

共産党の許可がない限り「操業したり」「止めたり」は勝手にできないのです。そんなことをすれば「共産主義の計画生産



シチズングループが中国に設立した生産拠点であった西鉄城精密(広州)公司是突如工場閉鎖を公表(2015年2月)

の否定」になり、逮捕され収容所に送られます。

中国に進出するとき50年間操業の誓約を交わしているのです、違反すれば違約金が発生します。

2015年にシチズンが中国工場を閉鎖した際は、全資産を差し上げた上で「違約金」や「補償金」を支払って撤退しました。

こんな目に遭っているのは日本企業だけではありません。

ドイツ銀行も撤退したいのに資金の移動を凍結され撤退できません。

ドイツ銀行は経営悪化のため中国資産を売却してドイツに送金しようとしたところ、中国当局に事実上差し押さえられました。買収した華夏銀行の株式を売却し、ドイツに送金しようとした売却金を差し押さえられたのです。

工場のような現物だけでなく、銀行の資金も中国からは1円たりとも国外には持ち出せないのです。

どうすれば中国から脱出できるのか？

蟻地獄に落ちたアリは「資産」や「現金」を全て差し出して、「命ばかりはおたすけ!」と逃げ出すしかないのです。

中国は「外資撤退」で外貨準備が底をつきかけています。

だから、なおさら外資の資金持ち出しに神経を尖らせています。

外資が数千億円分もの人民元をドルに交換して持ち出したら、その分外貨準備が減少し人民元は暴落するでしょう。

トヨタや日産やVWは中国で自動車を売りまくっていますが、中国国外に現金を持ち出すことはできないのです。

